

臨床実習ベーシック3日間コース

これまで臨床実習基礎コースに参加されたDr.はこんな問題を抱えていらっしゃいました。

上顎臼歯の遠心隣接面を見ながら形成するのが難しい。

覗き込み、直視のクセが抜けず、時間のかかる治療だと身体が辛い。

もっと上手にミラーを使いたいが、使い方が分からない

ポジショニング、グリップ、レストの位置が分からない。いまさら他人に聞けないし、人によって方法が異なる。いったいどれが正しいのか

pdによる診療風景



臨床実習ベーシックコースの内容

1日目の講義内容

- 1) 自然な姿勢で形成ができない問題点
- 2) 診療台は自然な動きを妨げていないか。
- 3) 自分の生理的な身体の位置を自覚する。
- 4) 患者さんと術者の好ましい位置関係
- 5) ミラーの上手な使い方
- 6) ミラーが濡れても見えないこと。
- 7) ポジショニング、グリップ、レストを自ら見つけ出すには?

講師

GEPEC教育サブパネル認定講師<敬称略・順不同>
石田雅司、黒岩保文、越智豊、セティシヤイオーバーシヤイタツ金明善、磯崎裕騎、三原丞二、三島賢郎、小松大造、小佐々晴夫、城戸雅章、水戸律夫、麻生昌秀、木村守隆、堀由紀子、橋岡優、前村学、小佐々泰、廣田恭彦、鳥越真一、松永泰裕、西田尚人、廣瀬健一

2日目の実習内容

シミュレーターヘッドとpd診療台を使ってミラーやハンドピースを駆使して、内側性各部位を見ながら形成実習。しかも術者の身体にムリ、ムラ、ムダ、ムジンのない方法を体感

受講者の感想

A先生

歯科治療における姿勢の重要性やミラーテクニックの必要性について気付かされました。



B先生

アシスタントとの連携で診療効率が上がることがわかった。



D先生

咬翼法によるX線写真の有用性が理解出来ました。明日からの臨床に早速取り入れたいと思います。



C先生

疑似う蝕が埋め込まれた人工歯を形成する実習はミラーの使い方がより実践的で良かった。



2018年 開催日/会場 3日間コース

コース開催約1ヶ月前には事前アンケートで受講される先生の受講目的をお聞きして、よりご要望に沿うように心懸けています。

① **大阪** ▶ 2月10日(土)・11日(日)・12日(月・祝)

② **新横浜** ▶ 5月 4日(金・祝)・5日(土・祝)・6日(日)

*会場、時間(スケジュール)、定員などの詳細は事務局宛、お問合せください。

- お申込は裏面の「ベーシック3日間コース参加申込書」の必須事項ご記入の上、下記へFAX、郵送、Emailをお願いいたします。
- 上記の会場の前の①②の表示は裏面の、受講お申込の際のご希望コースの番号になっています。

受講料

[一般] 86,400円

[モリタ友の会] 77,760円

[pd普及の会] 75,600円

受講料は8%の消費税を含みます。
pdpWebのユーザー登録はpd普及の会員には該当しませんのでご注意ください。

定員

大阪:10名 / 新横浜:6名

主催: pd普及の会 / GEPEC ・ 後援: (株)モリタ

pd 普及の会事務局

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目2-3 チサン第7新大阪 1214

電話 06-6100-3810 Fax. 06-6100-3801 E-mail: info@pdp.sc

予告

2018年後期 歯科臨床家のための全く新しい臨床コースが始まります。

MOUth Clinician Training Courses

pd Skill & Knowledge Transfer

ポジショニング原理、ミラーとハンドピースのハイコントロールによる窩洞形成

歯科は洞窟のような口腔内でミラーをはじめ、様々なインスツルメントや高速回転のハンドピースを用いて精密に処置する医療です。極めて高度な指先の繊細なコントロールが必要です。患者のためにもミスは許されません。ところが学生時代から治療部位や治療内容に最適な術者や患者のポジショニング、インスツルメントのグリップの方法さえも正式に教わりません。これではインスツルメントの扱い方や治療全般を「他人の見よう見まね」から学習してしまいがちです。卒後「他の技術をミックスする」⇒「姿勢の崩壊を招く」⇒「指先の繊細なコントロールを失う」⇒「治療の質が低下する」⇒「疲れ、諦め」⇒「他人の見よう見まね」という悪循環に陥ってしまいがちです。

新コースは悪循環の本当の原因を明らかにしたうえで、「上手にミラーが使えない」、「上手に削れない」といった基本的な技術の問題を実習テーマにしなが、他人の見よう見まねではなく、人間の共通基盤である解剖生理学的な仕組みに基づくpd原理【pd:Proprioceptive Derivation】という身体の潜在的な使い方に気づいていただけるように構成されています。この原理(Principle)から先生方、アシスタント、患者にとってミニマムストレスのポジショニング、身体や指先に合ったインスツルメントの形や使い方、診療環境のセッティング等を導き出します。悪循環から脱出して、患者にとってもムリ、ムダ、ムラ、ムジユない高品質の医療を提供することが目的です。またご自身にとっても悔いのない診療人生のスタートを見つけていただけることを目標にしており、インストラクター一同の切実な願いでもあります。本コースでは、2日間の短い日程ですが、効率よくわかりやすい3部編成に再構築しましたので、奮ってご参加ください。

第1部 事前調査 まず先生方の全般的な臨床状況(環境、診療スタイル、器具、その使い方、スタッフ等)を把握させてください。

第2部 自宅予習 送付テキストにてpd論理を予習していただけます。

第3部 実習と検証

- コース1日目：インストラクターがマンツーマンでデリケートなスキルや知識まで、惜しみなくアドバイスしながらpd原理による窩洞形成の実習をしていただけます。
- 1日目終了から2日目までの間(約7日間)貸出器機を用いて自院で復習トレーニングしていただけます。
- コース2日目：実践と検証を行います。

準備中! 乞うご期待

2018年 臨床実習ベーシックコース申込書

(ふりがな) お名前	勤務先
勤務先ご住所 (連絡先が異なる場合はその旨ご記入下さい)	TEL _____ FAX _____ Email _____

※FAX、郵送もしくはEメールで承ります。

参加ご希望コース名 (受講ご希望コース番号の☐にチェックを入れてください)

①大阪：2月10日・11日・12日 ②新横浜：5月4日・5日・6日

●お申込先・詳細のお問合せ先●

pd普及の会：大阪市淀川区西中島6-2-3 チサン第7新大阪1214

電話：06-6100-3810 FAX：06-6100-3801 Email：info@pdp.sc

- 日程は変更される場合があります。上記お申込先にご確認ください。
- コースの洗練、学術研究のため「受講中のビデオ録画」「写真撮影」を行う場合があります。予めご了承ください。
- 実習に動きやすい服装、履物でお越しください。筆記用具は各自でご持参ください。

pdp(pd Promotion) / pd普及の会 <http://www.pdp.sc> とは pdを普及する日本のNPO組織です。

GEPEC (Global Engineering Promotion and Education Collaborative) <http://www.systematiccare.net/> とは 政治または特定利益団体を除いた、多国籍メンバーが純粋にゼロ概念および、固有感覚に基づき、医療に係る器具、設備環境、治療法、情報技術、教育等を評価または開発し、そして世界中に普及する国際NPO組織です。